

事業者向け 児童発達支援事業 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	0	4	5	有資格者加算人員の配置がなされているが、一人当たりの担当児数が多く負担が大きい。通常療育だけでなく、保育所等訪問、機関支援など外部への職員派遣に苦慮している。円滑な運営に必要な人員の配置を伝えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1	0	公共施設のためトイレや手洗い、歯磨きなど身辺面の練習が難しい面もあるが踏み台や補助具などを使い、必要な利用児には対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1	0	療育終了後担当者間で振り返りと次回の計画を検討している。翌日の朝礼で職員全体への情報共有を図り必要に応じて話し合いを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	満足度アンケートを実施している。今年度から、保護者研修会のあとに毎回アンケートも実施し、必要に応じて対策を講じている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	HPで公開する予定はないため(所内掲示)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1	法人の調整により順次受けることになっている
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	法人の行う階層別職員研修に都度参加している。必要に応じ研修に参加できるようにしているが、2種職員の研修の機会がほとんどない。事業所内での伝達に留まっている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	療育開始前に、保護者ニーズの集約と全利用児に教育診断検査(PEP-3)を実施し評価をしたうえで利用計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	0	教育診断検査(PEP-3)を実施している。必要に応じ、WISCなどの検査の準備もしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	利用児担当者間で活動プログラムを検討している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	活動プログラムはマンネリ化のないように配慮しながら検討している
	13	発達ニーズに応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	0	本人状態の把握、保護者ニーズの変化を確認しながらPDCAを意識し、関わっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と地域生活での支援を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	療育開始前に必ず打ち合わせを行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	療育終了時担当者間で支援内容の達成度等振り返りを行っている。また、翌日の朝礼で職員全体でも情報共有を行っている。	
17	日々の支援に関して丁寧に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	療育後に振り返りを行い改善点などを話し合っている。また療育記録を作成するとともに次の計画作成の際に改善点を反映させている。	

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2	0	必要に応じ担当職員が参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	3	0	保護者同伴で療育を実施している。学校などの関係機関とは、必要に応じ保護者を介して情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	6	0	今年度は医療的ケアの必要な利用児はいないが、必要に応じ、保護者を介して連絡を取る体制にしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	1	今年度はまだ、情報共有の依頼などのケースはないが、必要に応じ、保護者を介して情報共有を図るようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5	2	そのような状況になったケースはないが、必要があれば、保護者了解のもと情報共有を図れるようにする。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	5	4	0	今年度は、児童発達支援センターの職員が事業所の保護者研修に参加された。また、利用児が通っている児発センターの見学を実施した。	
	26	地域生活において、地域の子どもたちと触れ合う機会、活動する機会があるか	2	4	3		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	7	0	対象地域が9市町村あり、各自治体によって所管課がことなることもあるので、自立支援協議会には参加していない。状況に応じて地域とのつながりを大切にしたいと考えている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	療育は保護者同伴となっているため、毎回の療育時間に、保護者と利用児について情報の共有を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	1	0	保護者の困りごと、対応の困難さに応じて、必要な支援方法を伝えるようにしている。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	利用契約説明会の場で、重要事項説明、事業内容、利用料等の説明を行っている。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	保護者同伴のため、療育時に相談受付、助言を行っている。緊急な場合は随時電話や来所での対応も行っている
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	2	保護者研修会へ参加していただいたときに、保護者間で情報交換をしていただけるようにしている

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	毎月、Sunニュースを発行し、ホームページ上で閲覧していただけるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	3	地域住民を招待するような企画は行っていない。今後、研修の公開なども検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、新型コロナを含む感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	0	事業団の総合防災訓練・事業所独自の避難訓練を行っている
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3	2	身体拘束を必要としたケースはないが、必要と思われる場合は身体拘束を行うに必要な3要件を満たしているのか確認したうえで、利用計画書に反映する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	2	事業所から食べ物を提供する機会がある場合は事前に保護者へアレルギーについて問い合わせを行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	